

熊本市に見舞金

ガイアートT・K 復旧復興を支援



大西市長（右）に手渡す
山本支店長

ガイアートT・K九州支店は24日、熊本地震の復旧・復興支援を目的とした見舞金200万円を熊

本市に寄付した。山本健司執行役員常務支店長らが市役所を訪れ、大西一史市長に手渡した。山本支店長は、「熊本市には仕事を通じて50年来お世話になっており、被災された地域の復旧・復興に役立てていただきたい」と話した。大西市長は、「道路網をしっかりとさせないと物流がアウトになる。道路はライフラインということを痛感した。舗装会社の技術力なくして復旧・復興はできない」と述べ、協力を求めた。

また、今後の都市づくりについて、「雇用創出のために産業を興すことと道路整備が重要だ。補修しやすい舗装技術などで災害に強い街にしなければならぬ」と述べた。これに対し山本支店長は、「地震に強い道路づくりに取り組みたい」と応えた。同社では、社員会が中心となって全社的に義援金を募り、社員、役員から147万6000円を集めた。会社も賛同し52万4000円を拠出した。

熊本地震復興支援

熊本市に200万円寄付

ガイアートT・K



ガイアートT・Kは、熊本市を中心に続く地震の被災地を支援するた

め、熊本市に200万円を寄付した。熊本市役所で24日、同社を代表して山本健司執行役員常務九州支店長と写真左が大西一史熊本市長に寄付金を手渡した。

山本支店長は「一日も早い復旧を願う。われわれも九州自動車道の復旧に取り組んでいる。今後協力していきたい」とあいさつ。大西市長は「受け取った寄付金は災害復旧、復興事業の財源として活用させてもらう。道路はライフライン

の核ということを被災して実感した。いまだ亀裂の入った道路も多く、復旧復興には道路会社の力が必要になる。今後も協力をお願いしたい」と述べ、同社の協力を謝意を示した。

寄付金は同社の社員会が中心になり、前山俊彦社長が音頭を取って集めた。社員から147万6000円が集まり、会社として52万4000円をプラスして計200万円を寄付した。